

令和6年能登半島地震に係る震災・学校支援チーム（EARTH）の派遣について①

1. 震災・学校支援チーム（EARTH）の概要

兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を生かすとともに、震災時に全国各地から受けた支援に報いるため、平成12年4月に県内公立学校教職員で構成する「震災・学校支援チーム」(EARTH)を設置（現在総勢230名の教職員と3名のカウンセラーで構成）。この間、全国各地の被災地を支援してきた。

2. これまでの主な派遣実績

（平成12年の立ち上げ時より随時活動）

平成16年 平成16年新潟県中越地震に係る支援活動（先行調査3名、支援派遣6名）

平成19年 平成19年新潟県中越沖地震に係る調査（3名）

平成23年 東日本大震災に係る支援活動（平成27年まで8回派遣、のべ194名）

平成28年 平成28年熊本地震に係る支援活動（調査派遣1回、支援派遣6回、のべ93名）

平成30年 大阪府北部地震に係る支援活動（調査派遣2回 支援派遣5回、のべ80名）

平成30年7月豪雨に係る支援活動（岡山県）（調査派遣1回、支援派遣5回、のべ81名）

北海道胆振東部地震に係る支援活動（調査派遣1回 支援派遣2回、のべ15名）

3. これまでの活動の様子（一例）

平成28年熊本地震に係る支援活動

（平成28（2016）年4月14日、16日発災）

活動実施：発災後3日目～

派遣期間：先遣隊：平成28（2016）年4月16日～18日

～第6次：平成28（2016）年8月22日～26日（のべ93名を派遣）

【主な活動概要】

- ・学校再開に向けた方法、時期、目的等の助言、支援
- ・子どもの健康チェックをして心の変化の把握、子どもの心のケア
- ・教職員や保護者への心のケア研修のための講師派遣
- ・阪神・淡路大震災の教訓と兵庫の防災教育を継承
- ・授業支援、教育相談

H28 心のケア研修会の様子



平成30年7月豪雨（岡山県倉敷市）に係る支援活動

（平成30（2018）年6月28日～7月8日）

活動開始：発災後6日目～

派遣期間：先遣隊：平成30（2018）年7月13日

～第5次：平成30（2018）年8月22日～24日（のべ81名を派遣）

【主な活動概要】

- ・学校再開に向けた方法、時期、目的等の助言、支援
- ・教職員や保護者への心のケア研修のための講師派遣
- ・子どもや教職員、保護者の話を傾聴
- ・授業支援、教育相談

H30 避難所運営の様子



1. 第1次先遣隊派遣の概要

石川県教育委員会事務局より、学校再開や避難所運営等支援に向けて、EARTHの先遣隊派遣による意見交換の要請があったことから、1月5日（金）～1月7日（日）の期間で第1次先遣隊を4名派遣。

【訪問先】

- 1月5日（金） 石川県教育委員会事務局
- 1月6日（土） 珠洲市教育委員会事務局、県立飯田高等学校（珠洲市内）、珠洲市立上戸小学校、珠洲市立宝立小中学校
- 1月7日（日） 七尾市立山王小学校、七尾市立小丸山小学校（※7日の学校訪問先は石川県教育委員会事務局と相談の上決定。）

2. 訪問先の状況等

珠洲市教育委員会事務局意見交換

【主な状況等】

- 教委職員数名で対応せざるを得ない状況。
- 学校再開に向け、各学校の課題の把握、状況・情報の整理、優先的な取組事項の設定等ができていない状況。



飯田高等学校 訪問

【主な状況等】

- 学校が避難所になっているが、教職員も被災しており、校長等管理職が対応に追われている状況。
- 避難者が校内の様々な場所にいるなど、避難所の整理ができていない状況。



3. 今後の方針等

○被災地の教育委員会が、**学校再開に向け具体的なロードマップを描き、前に進んでいけるよう**、各学校の状況・課題の把握、情報の整理、取り組むべき事項の把握と優先の設定等について**支援することが急務**。

○被災地の**各学校の教職員が学校再開に向け取り組めるよう**、避難所運営の支援や教職員の心のケア等について**支援することが急務**。



上記支援に向けた具体的な協議や体制整備を行うため、1月10日～13日の期間で**第2次先遣隊の派遣を実施**。

1. 第2次先遣隊派遣の概要

珠洲市教育委員会事務局及び県立飯田高等学校より、学校再開や避難所運営等支援に向けて、EARTHの先遣隊派遣の要請があったことから、1月10日（水）～1月13日（土）の期間で第2次先遣隊を9名派遣。

【訪問先】

○1月10日（水）～1月13日（土） 珠洲市教育委員会事務局、珠洲市立小学校、珠洲市立中学校、珠洲市立小中学校、県立飯田高等学校

2. 訪問先の状況等

珠洲市教育委員会事務局意見交換

【主な状況等】

○被災時において、教育行政事務に専念しつつも、各学校が抱える課題に応じたきめ細かな対応ができるよう支援することが必要。



市立小中学校の訪問

【主な状況等】

○学校再開後に教職員や児童・生徒の、安心・安全を確保できるよう、各学校の課題に応じた支援を行うことが必要。



飯田高等学校 訪問

【主な状況等】

○学校再開に向け、校務の整理、避難所の整理、学校の清掃等が必要。



3. 今後の方針等

各学校の子ども達や教職員の安心・安全を確保し、安定した学校再開・運営を行えるよう、被災地の教育委員会や各学校、教職員等に対し、各学校の状況や課題の把握・整理・共有、課題に応じたきめ細かな対応等を支援することが急務。



校務（事務）の整理、教職員・児童生徒への心のケア、防災教育の実施、登下校指導への支援等、各学校の課題に応じた支援を実施するため、1月15日～19日の期間で**第1次派遣を実施**。